

富山大学教育学部附属学校園案内

〒930-8556 富山市五艘1300

富山大学教育学部附属幼稚園	TEL (076)445-2812
富山大学教育学部附属小学校	TEL (076)445-2803
富山大学教育学部附属中学校	TEL (076)445-2806
富山大学教育学部附属特別支援学校	TEL (076)445-2809
富山大学教育学部附属学校事務室	TEL (076)445-2801

富山大学教育学部附属学校園は、それぞれ学校教育法その他関係法令の定めるところにより、幼稚園教育、初等普通教育、中等普通教育、特別支援教育を行うとともに、学部附属する教育研究の機関として、学部における児童生徒の教育又は幼児の保育に関する研究に協力し、学部の計画に基づき学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。

~~~~~ 目 次 ~~~~~

附属幼稚園案内	1
附属小学校案内	2
附属中学校案内	3
附属特別支援学校案内	4
附属学校園内の進学について	5
入学園後に要する主な経費	5

附属幼稚園案内

1 教育方針

- ・生涯にわたる人間的発達の基礎を守り育て、生きる力と、人やものを愛する心の芽生えを培う。
- ・幼児期にふさわしい生活の展開を通して、健康な心身と主体的な生活習慣や態度を養う。
- ・動植物等の自然と親しんだり、環境や人とかがわったりする体験によって、豊かな感性と創造的表現力を伸ばす。

2 園の沿革

- 明20. 6 富山県尋常師範学校に、幼児保育場として付設
 34. 4 富山県師範学校附属幼稚園と改称
 大6. 4 富山県女子師範学校附属幼稚園として、堀川村女子師範学校内に開設
 昭20. 8 空襲により園舎焼失、不二越工場の一部を園舎にあてる。
 23. 4 西田地方の師範学校体育館の一部を園舎にあてる。
 24. 5 富山大学富山師範学校附属幼稚園と改称。五福の旧兵舎跡へ移転
 26. 4 富山大学教育学部附属幼稚園と改称（学級数2）
 34. 12 富山市五艘村前に園舎を新築し、移転
 44. 3 富山市五艘の現在地に新園舎を竣工
 “ 園歌「みどりの野原に」制定
 52. 4 3年保育開始。3歳児1学級設置（学級数3）
 52. 11 創立90周年記念式典挙行
 53. 3 園舎増築工事完成
 53. 4 4歳児1学級増（学級数4）
 54. 4 5歳児1学級増（学級数5）
 62. 11 創立100周年記念式典挙行。「附幼100年のあゆみ」発行
 平6. 9 職員室・保健室の改築
 7. 10 『子供が主役の園生活』出版
 10. 3 創立110周年記念モザイク壁画＜ゆめのなる樹＞完成
 11. 10 『幼児の思いにこたえる環境づくり』出版
 12. 3 門のモザイク壁画＜ゆめいっぱいのおら・とびだせどうぶつ＞完成
 16. 4 設置形態が国立大学から国立大学法人となる。
 17. 10 富山大学人間発達科学部附属幼稚園と改称
 20. 10 創立120周年記念式典挙行
 “ 『こころを育む幼児教育』出版
 23. 4 2学期制実施
 25. 3 保育室エアコン設置
 25. 11 県産材遊具「こどもの城」完成
 29. 8 3歳児トイレ改修
 30. 8 4歳児・5歳児トイレ改修
 “ 創立130周年記念式典挙行
 30. 12 創立130周年記念遊具「ころキューブ」完成
 令2. 5 園舎外壁改修工事完了
 4. 4 富山大学教育学部附属幼稚園と改称
 5. 2 園舎内装工事完了

3 園の組織

教員の組織			学 級 数		
園 副 園 教 諭 講 師	長（大学教授併任）	1 人	3 歳児	1 学級	学級数 5 学級
	副 長	1 人	4 歳児	2 学級	
	諭	5 人	5 歳児	2 学級	
	師	6 人			

4 通園の方法

保護者の責任において通園（登園、降園とも）の安全が保証されるよう、保護者の付き添いのもとに通園する。

5 服 装 等

- (1) 清潔、軽快なもので、身体の発育を助け、運動しやすく幼児の手で脱着のできるものを着用する。
- (2) 帽子及びかばんは、当園指定のものを使用する。

6 P T A活動の参加について

入園児の保護者はP T A（みどり会）に入会する。

附属小学校案内

1 教育方針

- ・豊かな体験とふれあいの中で知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成し、全人的な教育活動を推進する。
- ・子供が自分らしい生き方を実現していけるように、自発的・自主的な学習を促し、子供が自信をもてるようにする。
- ・子供の個性と創造性の伸長に資するように、基礎・基本の指導の徹底を図る。
- ・教師と子供相互の信頼関係を築き、学び合い励まし合うような、明るく楽しい学校環境を整える。
- ・教師と保護者の信頼関係を深め、学校と家庭のそれぞれの機能を効果的に発揮させつつ、学校・家庭が一体となって子供の健全な育成を図る。

2 学校の沿革

- 明10. 12 石川県第二小学師範学校の附属小学校として創校
 19. 12 富山県尋常師範学校附属小学校と改称
 31. 4 富山県師範学校附属小学校と改称
 40. 4 単級6年編制とする。
 42. 5 西田地方に新校舎竣工
 大11. 10 尋常科第1学年から高等科第3学年まで編制（尋常科は10学級）
 昭16. 4 富山県師範学校附属国民学校と改称
 18. 4 学制改革により、富山師範学校男子部附属国民学校と改称
 20. 8 空襲により校舎焼失。同年9月15日より残った体操場で授業を行う。
 22. 4 高等科を廃止する。富山師範学校男子部附属小学校と改称
 24. 4 学校を旧兵舎跡の雨天練兵場に移転
 24. 5 富山大学富山師範学校附属小学校と改称
 26. 4 富山大学教育学部附属小学校と改称
 29. 12 富山市五艘の現在地に移転
 41. 4 現校舎を竣工
 43. 7 特殊学級設置
 51. 4 富山大学教育学部附属養護学校設置に伴い特殊学級廃止
 52. 11 創校100周年記念式典挙行政
 62. 3 共用棟竣工
 62. 11 校舎全面改修工事竣工
 平2. 3 体育館竣工
 6. 3 『追究を楽しむ授業』出版
 9. 11 創校120周年記念式典挙行政。校旗を新調
 11. 5 『未来への扉を開けよう』出版
 13. 11 『追究を楽しむ子供が育つ学校の創造 ―めざせ授業の鉄人―』出版
 16. 3 大韓民国ソウル慶熙大学校併設初等学校と友好校関係締結
 16. 4 設置形態が国立大学から国立大学法人となる。
 17. 3 中華人民共和国・大連・大連海事学校附属学校と友好校関係締結
 17. 10 富山大学人間発達科学部附属小学校と改称
 19. 12 創校130周年記念式典挙行政
 20. 5 『対話が授業を変える』出版
 23. 4 2学期制実施
 25. 6 『子どもが思考を組み替えるとき』出版
 25. 9 エアコン各教室設置
 27. 10 全日本教育工学研究協議会全国大会（富山大会）で授業公開
 29. 6 『「深い学び」のある授業～思考の活性化による認識の深まり～』出版
 29. 11 創校140周年記念式典挙行政
 30. 8 観察池改修工事
 令2. 6 『子供がつくる「深い学び」』出版
 4. 4 富山大学教育学部附属小学校と改称
 6. 11 『対話が学び続ける子供を育てる』出版

3 学校の組織

教員の組織			学級数・児童数（定員）			
校 長	1 人	1 年生	2 学級	70 人	学 級 数 児 童 数	12 学級 420 人
副 校 長	1 人	2 年生	2 学級	70 人		
主幹教諭	1 人	3 年生	2 学級	70 人		
教 諭	15 人	4 年生	2 学級	70 人		
養護教諭	1 人	5 年生	2 学級	70 人		
講 師	5 人	6 年生	2 学級	70 人		

4 通学の方法

バス（新桜谷町線、石坂・北代循環線、富山高岡線）及び市内電車（大学線）などの利用のほか、徒歩によって通学する。

5 服 装

学校規定の制服、制帽を着用する。

6 P T A活動の参加について

入学児童の保護者はP T A（ふたば会）に入会する。

附属中学校案内

1 教育方針

(校訓) 自分で考え 自分で計画し 勇気をもって実践しよう
己にうちかち 他を愛し 真善美を求めよう

- ・高い知性と豊かな情操を備え、強い意志をもって真・善・美を追求する人間を育成する。
- ・思慮に富み、善悪の判断を誤らず、誠実・勤勉で、自主性をしっかり身に付けた人間を育成する。
- ・教師や友人との親和を重んじ、共同生活における自らの立場と使命を自覚し、社会の有能にして望ましい形成者となる人間を育成する。
- ・明朗活発な気性と堅忍持久の精神をもって、志すところを貫徹してゆく実行力を備え、強健な身体をもつ人間を育成する。

2 学校の沿革

- 昭22. 4 富山師範学校附属中学校と呼称し3学級編制で、旧連隊馬小屋跡を校舎として創校
22. 12 旧連隊炊事場跡に校舎移転
23. 4 旧連隊将校集会所・営倉跡に校舎移転
24. 4 旧連隊雪中演習場跡に校舎移転
26. 4 富山大学教育学部附属中学校と改称。五艘校舎に移転
28. 4 9学級編制完了
34. 12 前五艘校舎、五期にわたる工事完成
43. 4 現校舎竣工
44. 4 12学級編制完了
45. 4 特殊学級設置
45. 12 特殊学級新校舎竣工
51. 4 富山大学教育学部附属養護学校設置に伴い特殊学級廃止
57. 4 創校35周年
62. 3 共用棟竣工
平6. 3 情報教育棟（研修室、コンピュータ室、図書室、LL教室）竣工
9. 4 創校50周年
13. 8 中国遼寧省阜新市実験中学校と友好関係協定を締結
14. 4 2学期制実施
16. 1 校舎全面改修工事竣工
16. 4 設置形態が国立大学から国立大学法人となる。
17. 10 富山大学人間発達科学部附属中学校と改称
19. 10 体育館耐震改修工事竣工
29. 4 創校70周年
29. 8 多目的コート改修工事竣工
令4. 4 富山大学教育学部附属中学校と改称

3 学校の組織

教員の組織

学級数・生徒数（定員）

校 長（大学教授併任）	1 人
副 校 長	1 人
主幹教諭	1 人
教 諭	20人
養護教諭	1 人
講 師	2 人

1 年生	4 学級	160人	学級数 生徒数	12学級 480人
2 年生	4 学級	160人		
3 年生	4 学級	160人		

※令和8年度入学者から4学級140人となる。

4 通学の方法

バス（新桜谷町線、石坂・北代循環線、富山高岡線）及び市内電車（大学線）などの利用のほか、徒歩、自転車（2年生から）によって通学する。

5 服 装

学校規定の制服を着用する。

6 P T A活動の参加について

入学生徒の保護者はP T Aに入会する。

附属特別支援学校案内

1 教育方針

- ・教師と児童生徒及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育て、明るく健全な児童生徒の育成を図る。
- ・児童生徒の障害の状態及び能力、特性の的確な把握に努め、一人一人に応じた指導を行う。
- ・児童生徒の経験や興味・関心を重んじ、自主的・自発的に取り組むことのできる学習内容を設定する。
- ・学校生活全体における教育環境を整え、日常生活の指導の充実を図る。

2 学校の沿革

昭43. 4	教育学部に養護学校教員養成課程新設 (昭和42. 4)これに伴って附属小学校特殊学級 1学級新設。7月1日図書室に開級	平6. 8	校舎改修工事完成
44. 4	附属小学校特殊学級1学級増設(計2学級)	8. 11	創立20周年記念式典挙行
45. 3	特殊学級校舎新築工事着工	12. 11	日常生活訓練施設 「ゆうゆう館」竣工
45. 4	附属中学校特殊学級1学級新設	16. 4	設置形態が国立大学から国立大学 法人となる。2学期制実施
45. 12	特殊学級校舎新築竣工。移転	17. 10	富山大学人間発達科学部附属養護 学校と改称
46. 4	附属中学校特殊学級1学級増設(計2学級)	18. 11	創立30周年記念式典挙行
47. 4	附属中学校特殊学級1学級増設(計3学級)	19. 4	富山大学人間発達科学部附属特別 支援学校と改称
50. 4	附属小学校特殊学級1学級増設(計3学級)	26. 3	校舎耐震改修工事竣工
51. 4	富山大学教育学部附属養護学校設置	28. 10	創立40周年記念式典挙行
52. 4	高等部新設	令4. 4	富山大学教育学部附属特別支援学校 と改称
54. 6	校舎増築工事竣工		
60. 3	実習棟竣工		
61. 6	創立10周年記念式典挙行		

3 学校の組織

教員の組織

学級数・児童生徒数(定員)

校 長(大学教授併任)	1人	小学部	1組(1,2年生) 2組(3,4年生) 3組(5,6年生)	1学級 6人 1学級 6人 1学級 6人	学 級 数 9学級 児童生徒数 60人
副 校 長	1人	中学部	1年生 2年生 3年生	1学級 6人 1学級 6人 1学級 6人	
学部主事	3人	高等部	1年生 2年生 3年生	1学級 8人 1学級 8人 1学級 8人	
教 諭	24人				
養護教諭	1人				
栄養教諭	1人				
講 師	7人				

4 通学の方法

徒歩又はバス(新桜谷町線, 石坂・北代循環線, 富山高岡線)及び市内電車(大学線)などの利用のほか, 保護者の付き添いによって通学する。

5 服 装

学校規定の制服を着用する。

6 P T A活動の参加について

入学児童生徒の保護者はP T A(わかば会)に入会する。

7 就学奨励費について

給食費, 通学費, 学用品購入費, 入学に要する諸経費, 校外活動費などに要した諸経費については保護者の所得に応じて, 就学奨励費が一定の割合で支給される。

附属学校園内の進学について

附属学校園内の進学（附属幼稚園から附属小学校，附属小学校から附属中学校，附属特別支援学校小学部から中学部，中学部から高等部へ）については，できない場合もある。

入学園後に要する主な経費（金額は予定）

附属幼稚園

- ・入園料31,300円，保育料（年額）73,200円（5月・11月の2回に分けて納付）
※納付された入園料及び保育料は，幼児教育・保育の無償化制度により別途手続きを経て住民票のある市町村から償還される（償還払い方式）。ただし，上限額がある。
- ・牛乳代，教材費，P T A会費等として月額約5,000円
- ・日本スポーツ振興センター災害共済掛金（年額）200円

附属小学校

- ・給食費，学級教材費，学習専用端末保険費，P T A会費等として月額約12,000円
- ・入学時購入教材費（6,700円×3ヶ月），学年積立金（5年・6年 月額6,000円）
- ・日本スポーツ振興センター災害共済掛金（年額）490円

附属中学校

- ・修学旅行積立金，生徒会費，教材費，I C T関連費，P T A会費等として月額約15,000円
- ・日本スポーツ振興センター災害共済掛金（年額）490円

附属特別支援学校

- ・給食費，学校教材費，P T A会費等として小学部は月額約12,500円。中学部は約15,000円，高等部は約13,000円～18,000円
- ・日本スポーツ振興センター災害共済掛金（年額）小学部・中学部490円，高等部1,860円